

我孫子市

管理職「イクボス」宣言

働きやすい職場づくりへ

部下の育児を積極的に応援しながら自らも仕事と私生活を両立させる上司「イクボス」を増やそうと、我孫子市の管理職員ら約40人が23日、市独自の目標を掲げた「イクボス宣言」を行った。市職員の働く環境の改善に向け、管理職員の意識から変えていく試み。県内では千葉市に次いで2番

目の実施となる。

イクボスは父親の育児参加を支援するNPO法人フアザーリング・ジャパンが推進するプロジェクト。三井物産系列の上場会社を経営し、同NPO理事も務める川島高之さんが講師となり、行政にとつてのワーク・ライフ・バランスや部下を理解することの重要性な

どを市職員に伝える研修を行った。



横断幕を掲げ、イクボス宣言する市職員ら
=23日、我孫子市役所

職員らはイクボス宣言書に署名し、横断幕を掲げて氣勢を上げた。宣言書には「まず自らの働き方を見直し、率先してワーク・ライフ・バランスを実践する」「全ての職員が子育てに限らず家庭や地域で活躍できるよう、職場環境を整える」など、我孫子市独自の目標が盛り込まれている。宣言式に参加した星野順一郎市長は「市役所が率先して働きやすい環境づくりを進める姿勢を市全域に伝えてほしい。子育てし

やすい仕組みをつくっても、活用されなければ意味がない」と話した。